

西 ～にし～

Good News 特集号

■第五商業高等学校
全日制課程

「英語スピーチコンテスト
2年連続全国大会へ！」

■第五商業高等学校 全日制課程「英語スピーチコンテスト2年連続全国大会へ！」

10月14日（土）都立江東商業高等学校において、平成29年度第34回全国商業高等学校英語スピーチコンテスト東京大会が開催され、昨年度のスピーチの部での全国大会出場に続いて、レシテーションの部で優勝し、再び全国大会に出場することになりました。本校は毎年夏休み前に希望者を募り、オーディションを行います。今年度は2学年の園田春人君がレシテーションの部に、渡邊海奈さんがスピーチの部に出場しました。

レシテーションの部では300語程度の英文を暗誦します。英文を解釈し、どこを一番聴衆に聞いてもらいたいかを自分で決め、効果的に伝えるために読み方、スピード、間、声量を調節します。園田君の声はとても通りがよく、聴衆が聞き入ります。また、アドバイスされたことをすべて吸収し、反映できる柔軟性と、粘り強さで見事優勝を決めました。

スピーチの部では自分の考えていることを言葉にしていきます。いつも心の中にあることでも、実際に言葉にして原稿にするのはとても大変な作業です。渡邊さんは日本社会において、タトゥーがあると外国人旅行客を含め、プールや温泉に入ることを制限されてしまう現状にスポットライトをあて、自分の思いをまとめました。考えさせられる内容となりました。

コンテストに出場することになった生徒が毎年共通して苦労するのは、原稿の全文暗誦です。数か月の間毎日毎日、何度も何度も繰り返し読み、内容もすべて頭に入っているのに、一つのセンテンスがフッと抜けてしまうことがあります。本番が迫る中で、そのような経験をするのは大変怖いことだと思うのですが、今まで出場してきた生徒も、そして、園田君、渡邊さんも見事に克服してくれました。園田君には来年1月に予定されている全国大会でも活躍してくれることを期待しています。

以下、二人からのコメントの抜粋です。

渡邊さん「今回初めて大舞台での英語のスピーチを経験し、様々な面で勉強になりました。私自身、もともと海外ドラマや海外アーティストが好きで、そこから英語というものに興味をもち始め、同時に英語を話せるようになりたいと常に思っています。今回のスピーチで英語の長文をすべて暗誦し発表するという機会をもち、改めて英語をマスターしたいと思い、同時に新たな言語を学ぶ大変さを実感しました。本番当日はものすごく緊張していましたが、自信をもっていたので堂々とスピーチすることが出来ました。結果は3位ということでしたが、このスピーチ大会では順位にはこだわりません。何よりも英語の学習をすることにより自分の自信につながったので、とても貴重な経験になりました。今後もスピーチのためではなく、自分自身のために更に英語を学習し習得していきたいと思います。」

園田君「私のRecitationの題材は、『Learning a second language』第二の言語を学ぶという文の内容をスピーチしました。最初は意味が分からず、少し嫌になりましたが、文の中にポジティブに、前向きに頑張るとあり、まさに自分の今の状況と一致し、私自身の中に英文が入り込んでくる感じがしました。また、先生方がつきっきりで指導してくれたこともあり、本番では自信をもって、スピーチをした結果1位を取ることが出来ました。最後まで逃げずにやり遂げれば、それなりの結果もついてくるとわかりました。まだ私のスピーチ大会は終わっておらず、もっと練習をしないといけないと思います。これからの練習も前向きに頑張っていこうと思います。」



東京都西部学校経営支援センター

〒190-0022 東京都立川市錦町4-6-3 東京都立川合同庁舎4階

電話（管理課）（042）527-6590

（経営支援室）（042）527-6980

ファクシミリ（042）527-6468